



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.374 2022
鹿児島ワイズメンズクラブ

2
月号

国際会長 : Kim Sang-chaе [韓 国] 世界とともにワイズメン Y's Men with the World
アジア会長 : 大野 勉 [神戸ポート] 100年を越えて変革しよう Make a difference beyond the 100th
西日本区理事 : 新山 兼司 [京都トップス] Challenges for the future 未来への挑戦
九州部部长 : 森 律子 [八 代] 小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ
With great love for the little things And towards the future...



SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲



会長通信

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.



「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」とのたとえの通り、今年も明けて早2ヶ月が過ぎ去ろうとしております。この文章を書いております今現在、北京冬季オリンピックも佳境に入り、様々な人間ドラマが展開されています。でも、私は少し冷めた目で見ているのです。昨年夏の東京オリンピック直前の国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長の会見での一言は残念至極でした。東京オリンピック開催期間中、日本国民に安全を訴えるつもりが「最も大事なものはチャイニーズピープル...」と日本人を中国人と言いつつ間違えたのです。すぐに「ジャパニーズピープルの安心安全」と言い直しましたが、コロナ禍で五輪開催どころではない日本人の感情を逆なでしたのです。拝金主義が蔓延るIOCにとって潤沢な資金を提供する中国を贖罪するにしても、本音が垣間見えて実に腹立たしく思えました。日本人はもっと怒るべきです。この発言が公になって以来、私はオリンピックへの関心が薄くなりました。大国の政治に利用される五輪は興味も薄れますが、しかし、若い選手の皆さんには罪はありません。競技に対するひたむきな姿、姿勢は尊重されるべきですね。昨年からの一連の国際オリンピック委員会の姿勢や態度を見聞きするに付け、今後のオリンピックのあり方も根本から考える時がきているようだと感じます。日本は金メダルを何個取った、銀だ銅だと騒いでいるばかりではいけないのです。

毎年3月に開催されますワイズメンズクラブ西日本区次期会長・主査研修会や6月に開催予定の区大会はコロナウィルス蔓延のため、単日開催となります。区大会の案内や詳細については後日案内いたしますが、今の状況では致し方ありませんね。私は当初「このパンデミックは収まるには3年は掛かるな」と覚悟を決めましたが、3年目に入りました。集団免疫が出来るまで待つしかないのが現状です。それにしても医療先進国のはずであった日本はワクチン開発分野では後進国になっていたという事実はアフターコロナにおいて教訓として皆さんお一人お一人が心に刻んでおくべきでしょう。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではいけないのです。高額な金額を海外の製薬会社に支払ってワクチンを買って求めた事実を決して忘れてはなりません。これは国民の税金で買ったのです。ただではありません。新たなウィルスが次の出番を待っているのです。その時に備えて準備を始めなければなりません。そして、我々は今回のパンデミックで歪んだ人間社会を修復するべきはワイズメンズクラブとYMCAの理念であることを多くの方々に訴えながら理想社会の実現に向けての準備に入らなければなりません。そのあたりの事を2月例会では「ダイヤモンド例会」と銘打って語り合えればと思っております。

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



理事通信

西日本区理事 新山 兼司

Challenges for the future
未来への挑戦



新型コロナウイルスの新変異株オミクロン株の感染拡大で社会機能の維持に危機が迫っています。欧米でも深刻な事態になっており、政府は濃厚接触者の待機期間を10日間に短縮することなどで影響を最小限に抑える考えを示しましたが感染者はかつてないペースで急増しています。

2022年ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年を迎える年になりましたが、西日本区内の活動は新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大により、1月・2月の各部の行事を中止又は延期をされることとなりました。その中でも唯一開催された部やクラブのご報告をさせていただきます。

2022年1月10日 北ピワコホテル グラツィエにて びわこ部合同新年交流会が開催されました。

びわこ部の皆様とは元京滋部の時からの間柄で久しぶりにお会いできた方もおられ、琵琶湖の夕日を見ながら楽しい一時を過ごさせていただきました。

ご準備された皆様に感謝致します。

2022年1月11日 ホテルニューオウミにて 滋賀蒲生野クラブ 1月新年例会に参加し「西日本区の現状と今後の展望」と題して講演をさせていただきました。1月10日ホテルニューオウミで宿泊したため、午前中より滋賀蒲生野クラブの東会長や三原書記ご夫婦に近江八幡周辺の観光スポットをご案内して頂き有難うございました。

滋賀蒲生野クラブさんのこども食堂支援活動のお話も聞けて良かったです。又、午後からは安田びわこ部部長と滋賀YMCAに行き、久しぶりに久保田総主事とお会いでき滋賀YMCAの活動を聞かせて頂きました。

滋賀蒲生野クラブさんの例会開始迄の間、皆様にお世話になり感謝致します。

2022年1月12日 ウェスティン都ホテル京都にて 京都トップスクラブ新年例会、自クラブの例会ですが、ゲストの皆様12名参加、そして2名の入会式がありました。

総勢60名以上の参加となり、テーブルスタイルではなく、コロナ対策用の配置をされていました。今期に入って他クラブより多くの皆様がトップスクラブの例会に参加されていますので、ドライバー委員会は必ず例会1時間前に入り、リハーサルをしています。例会は時間通りに始まり、時間通りに終了するだけではなく、参加された皆様に活力を与え、次の例会も参加したいと思って頂けるような例会になっています。

これからも宜しくお願い致します。

2022年1月13日 第25回西日本区大会実行委員会 オンラインにて開催 新型コロナウイルス感染拡大により、2022年6月11日・12日の2日間開催を6/11単日開催にすることが決まりました。

合わせて1月14日西日本区常任役員会に議案提出をされました。

2022年1月14日 西日本区常任役員会オンラインにて開催 今年度、西日本区における様々な課題を含め、協議をしました。協議案及び議案については概要を別資料に掲載します。

2022年1月19日 寒空中、京都YMCAチャリティーゴルフコンペが開催されました。新型コロナウイルス感染対策のためハーフコンペに変更されプレー終了後の表彰式も中止となりましたが京都部のワイズメンズと共に楽しいゴルフが出来ました。

2022年1月23日 ワイズ将来構想特別委員会オンラインにて開催 数年来の会員減少に歯止めがかからず西日本区改革としてパーパスブランディング策定計画について意見交換をされました。

西日本区には78クラブがあり、それぞれのクラブは日頃より素晴らしい奉仕活動をされています。

その活動を末長く継続していくためには、今クラブにとって何が足りないのか、今一度クラブ内にてご検討して頂きますようお願い致します。

樋脇麗子ワイズを偲んで

神村 浩



樋脇さん、何をそんなに急いで逝ってしまったのですか、少し早いのではないですか。クリスマス例会の時は隣で肘をつつき合いながらおしゃべりしたのに。神のもとに召されたとか、召天したとか云うけど、やはり寂しいよ。もう例会があっても貴女の姿はないのですね。

享年82才、12月31日に召天されました。一人暮らしの彼女は正月2日に発見されたそうです。

貴女はほんとうに実直で正義感の強い方でした。私は貴女の前で下手な発言をした時は「しまった」と思い貴女の目を見たものでした。そんなとき貴女の目は鋭く怖いものでした、私はそんな貴女の目が好きでした。

樋脇さんが入会されたのは1998年頃での松田瑞穂ワイズがホストでした。その後2004年に樋脇会長が実現致しました。この頃、指宿の小園家で「餅つき大会」が始まり大いに盛り上がりを見せました、これが数年継続した後、山下家に引き継がれました。

樋脇会長の時、九州部会の折下関観光などをした記憶があります。やはりクラブが結束する為には楽しいクラブであることを実現したような会長でした。

入会当時、松田潤子メネットは家庭裁判所の調停委員でした。樋脇さんは家庭裁判所の書記官室で働いており、いろいろな指導を頂いたそうです。最後は資料館の事務官として退職されました。家庭裁判所では見にくい争い事、不幸な生い立ち、大きな不遇にある人達、人情ある人達を見てきました。

そのような職業柄か公私の区別には厳しく、自然と正義感が育まれたのでしょうか。

同僚の話によると、公私の区別があるとは云え、道義上...これは!と思った出来事には、糊しを越えて尽くす気構えの持主でした。裁判所でも上司に恵まれ、公私を越えた働きも積極的にしていたそうです。その延長線上で「いのちの電話」を長くボランティアで続けられました。ワイズメンズクラブもYMCAも同じ線上にあるのだと思います。樋脇さんはクリスチャンではありませんでしたが、聖書の研究には熱心で聖書理解には深いものがありました。私のようなクリスチャンよりもはるかに神に近づいた人でしょう。

◆姪子の安倍稚江さんの挨拶から引用いたします。

樋脇さんは昭和15年、曾於郡大隅町岩川（現：曾於市）に生まれました。7人兄弟姉妹の末子で、皆に可愛いがられ、怒られた記憶がないと聞いていました。伝え聞いた話によると、幼い頃当時めったに手に入らない貴重な「ミルク飲み人形」など、戦地の叔父さんから贈られたこと。血統書付きの柴犬を買ってもらい、背中におんぶしたりして遊んでいたとのこと。

私は物心ついた頃から麗子伯母に可愛がられて育ちました。こんなに突然お別れが来ることなど思ってもいませんでした。子供の頃は投げたり蹴ったりのボール遊びに根気強く付き合ってくれました。

一番印象に残っていることは、夏のプールで私が冗談でおぼれた真似をしたところ、麗子伯母が洋服のままプールに飛び込んできました。冗談だと分かり私はひどく叱られた素晴らしい思い出があります。ワイズメンズクラブとかYMCAとか耳にしたことはありますが、私は全く無理解でした。麗子伯母はいろんな処でお世話になっていたのですね。ご会葬下さり誠にありがとうございます。

(命のある限り恵みと慈しみはいつもわたしを追う主の家にわたしは帰り生涯、そこにとどまるであろう。詩編23-6)



樋脇麗子ワイズを偲んで

中堀 清哲

先月の例会でお元気そうなお姿を見せてくださったばかりなのに、余りにも突然の訃報に驚きと悲しみに耐えられません。樋脇さんはいつもにこやかに優しい言葉をかけてくださいましたね。其の優しさの奥には凜とした強さも感じさせてくださいました。かつて、会長をお願いした時はなかなかお引き受けくださりませんで、漸くお引き受けくださった時はそれは嬉しかったことが懐かしいです。永年にわたっての、ワイズダムへのご奉仕に心より感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

樋脇麗子ワイズを偲んで

徳田 穰

1月6日昼頃久し振りにパソコンを開いたところ突然目に入ってきたのが樋脇さんの訃報でした。余りにも突然の訃報でには信じられませんでした。昨年12月14日のワイズメンズクラブ12月例会でお会いし、帰りに樋脇さんと山口さんを車で送っていき「良い正月をお迎えください。来年またお互い元気で会いましょう。」と言って別れたばかりでした。まさか12月31日お亡くなりになるとは夢にも思いませんでした。心からご冥福をお祈りいたします。

樋脇さんは優しく親切で、ゆっくり噛みしめるように話をされる方でした。また、人を非難したり、相手を傷つけるようなことは決して言わない方でしたので、皆様から好かれるお人柄でした。

樋脇さんはワイズメンズクラブに入会して20数年になるといいます。その間2003ー2004年度は会長をなされておられます。わたくしは樋脇さんから会長を引き継ぎましたので、彼女からいろいろなことを学ばさせていただきました。

樋脇さんは責任感が強く、例会はもとより、九州部の評議会、総会、西日本区の総会など会長が出席しなければならぬ会は、欠席することなく全部出席されておられました。また、霧島新緑ツアー、餅つき大会などのイベントを行い、会の活性化に一生懸命取り組んでおられました。このように樋脇さんは会長として大きな実績を残されておられます。

鹿児島いのちの電話が創立された頃から亡くなる直前まで30数年間無報酬のボランティアとして月に4回程相談員をなさっていたと伺っています。相談業務は24時間の対応なので、1コマ4時間の6交替（6コマ）になっていたそうです。樋脇さんは何時も午後11時から翌朝の8時まで（2コマ8時間）の深夜の時間に相談員をなさっていたそうです。鹿児島県内のみでなく全国から相談の電話がかかってくるので、仮眠する暇もないほど忙しいと言っていました。

このように樋脇さんは、鹿児島ワイズメンズクラブ、鹿児島YMCA、鹿児島いのちの電話などさまざまところで、ボランティアの奉仕活動を行っておられます。樋脇さんはクリスチャンではありませんでしたが、彼女はキリスト教の愛の奉仕を実践なさった方でした。今頃はきっと天国で安らかに憩い、私どもを温かく見守ってられることと思います。

樋脇麗子ワイズを偲んで

園屋 高志

樋脇さんには12月例会に元気なお姿でお会いしていましたので、本当に驚きました。謹んでお悔やみ申し上げます。例会でお会いした時は、いつも丁寧なご挨拶をされ、優しい言葉をかけていただきました。2011年に霧島で九州部会を開催した際に、ふだんあまりお話しする機会がなかった樋脇さんと、霧島までの車中でいろいろお話をさせていただいた時のことが忘れられません。ワイズ活動へのご貢献に心より感謝いたします。

樋脇麗子ワイズを偲んで

山口 眞弓

樋脇ワイズの突然の旅立ちに唯々驚き、悲しみでいっぱいです。毎月例会が終わると徳田ワイズに樋脇ワイズと二人送っていただいていた。いろいろおしゃべりして帰りました。関わっておられたボランティアのお仕事では、夜を徹してお当番を「他にできる方が少なくなったので」と月に何度かしておられることを、大変がられるでもなく、誇るでもなく淡々と話して下さったことがあり、唯々感心するのみでした。車を降りられる時にはいつも私の体調を気遣って下さり励まして下さいました。まだまだたくさんお話できると思っていたのに残念でなりません。

私の夫が先立った後、樋脇さんはよく「山口さん、ご主人様が守っていて下さるから、きっと大丈夫よ。頑張っね。」とおしゃって下さっていました。

今、樋脇ワイズは残された我々鹿児島ワイズメンズクラブのを守って下さっていることでしょう。その守りに応えてワイズメンズクラブでよい働きをしていけるよう努めてたいと思います。

心より哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

鹿児島ワイズメンズクラブ会員一同



02 企画例会報告 Planning meeting report

日時：令和4年2月8日 火曜日
19:00～20:00
場所：Zoom
出席者：神村、中堀、園屋、徳田、松若、松永

01 定例会報告 Planning meeting report

日時：令和4年1月25日 火曜日
場所：鹿児島国際交流センター
出席者：8名
司会者：園屋

1月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	8名
メネット	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
1月出席率	88.9%



ヒイラギナンテン

トウナンテンともいう。江戸時代に渡来し、庭木としてよく植えられてきた。ナンテンのような枝振り、ヒイラギのようなトゲのある葉から、この名前が付いたものであろう。早春に（通常3-4月）黄色い可愛い花を付けるが、今年は2月の内から花を付け始めた。この花の面白いところは、雌しべの根元を爪楊枝か松の枯れ葉でつついてやると、周りの雄しべがペタリと雌しべにくっついてくることである。最下段の写真はこの様子を示したものである。

学名は *Mahonia japonica* で、ナンテンと同じメギ科でヒイラギナンテン属である。果実は7mm程の球状で、9-10月に黒紫色に熟す。

今月の聖句

そればかりでなく、苦難をも誇りとしています。

苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。

ローマ信徒への手紙 5章3-4節

鹿児島YMCA報告

新型コロナウイルス感染拡大が続く日々ですが、皆様元気にお過ごしでしょうか？

鹿児島YMCAでは、コロナ感染者の推移を見守りつつ、感染対策にさらなる力を入れて取り組んでまいりましたが、小学生を中心とした子どもたちの間での感染拡大傾向を考慮して、急遽2週間のオンラインレッスンに移行しました。操作や環境準備に不安な保護者の方々と対照的に、子どもたちのほうがオンラインレッスンになれるのが早く、楽しく安心して活動継続が出来ています。

さて、2月の最終水曜日はピンクシャツデーです。社会全体がいじめに対して「自分ごと」として向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」がいじめられている人を救うことになると私たちは考えます。一人ひとりが「自分ではない誰かの為に」行動できる社会実現に向けて、ピンクシャツデーとして定められている2月最終水曜日に向けて取り組んでまいります。

ワイズメンズクラブの皆様も一緒になってこの活動への取り組みを行ってほしいと考えています。身近な人といじめについて話をすることも活動の一環です。ピンクシャツデーにピンクのシャツを着てアピールする、例えば2月最終水曜日の勤務日にピンクのネクタイ着用するといったことも、いじめについて考えようというアピールになります。

コロナ禍でマスクによって互いの表情が見えにくい、密を避けることを推奨する中で、お互いの心の距離を図るのが難しい時代です。また表面上はうまく付き合えても、SNS等で本音をさらけ出すことで相互コミュニケーションが複雑になっている時代です。こんな時だからこそ、私たちはワイズメンズクラブの皆さんと手を取り合い、この運動を通していじめについて一緒に取り組む関係を築いていきたいと思います。

今年はコロナがなければ、もっと大々的にPRし、ワイズメンズクラブと鹿児島YMCAを象徴する活動にしていきたいと考えておりました。今年は鹿児島市内70校、地域メディア、法人賛助会にピンクシャツデー運動推進のご案内をしました。

来年はみんなでピンクシャツを着て中央駅を練り歩くようなイベントができるといいですね。

鹿児島YMCA 新内 博之

